

令和2年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「女性・青少年のためのノイエンベリヤン・コミュニティセンター設立計画」
供与式の実施

令和4年6月15日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「女性・青少年のためのノイエンベリヤン・コミュニティセンター設立計画」（供与限度額：70,955米ドル(7,805,050円)）の供与式が、タヴシュ州ノイエンベリヤン市の同コミュニティセンターにおいて行われました。本式典には、福島正則駐アルメニア日本国大使、アルセン・アガバビヤン・ノイエンベリヤン市長、被供与団体であるアルメニア教会タヴシュ教区のバグラト・ガルスタニヤン主教等が出席し、その他パートナー団体や児童・生徒、保護者等の関係者総勢約50名が参加しました。

本計画は、タヴシュ州ノイエンベリヤン市に、子どもや女性、失業中の若者など社会的に脆弱な人々を対象としたコミュニティセンターを設立し、もって彼らの生活の質の向上及び経済的自立を促進することで、包摂的で持続可能な社会・経済開発に寄与することを目的としています。本件の実施により、年間で厳しい環境に置かれた女性や青少年約250名が、英語、手工芸、文化、スポーツ等の情操教育支援、職業訓練や育児支援などのサービスを受けられるようになります。



新設されたコミュニティセンター(左)



福島大使のスピーチ



児童・生徒による伝統舞踊



ODA プレート除幕